

令和 2 年度
事業報告(案)

社会福祉法人 白老宏友会
指定障がい福祉サービス 愛泉園
(生活介護事業)

1. 総括

令和2年度は新型コロナウイルスの影響を受け、感染防止の為、衛生用品の確保や空気清浄機の設置や飛沫防止設備など出来る対策を順次進めるとともに、日課や行事に関しても変更や中止などによりリスクの低減を考えながらの一年でした。そのため、楽しみにしていた家族会との合同収穫祭も利用者だけでの開催となりましたが、代わりに豊作の「シャインマスカット」を利用者が収穫し保護者の皆さんに写真を添えてお届けすることとなり、ご家族からの「おいしかったよ」との返答は、利用者皆さんの笑顔につながったと思います。

また、事業関係では国立博物館「ウポポイ」もコロナの影響で開業がずれ込み7月にオープンを迎えましたが10月下旬には再度感染防止の強化が始まり来場者が半減したため、愛泉園作品である「缶バッチ」や「Tシャツ」などのアイヌ文様製品売上額は目標値には至りませんでした。約3か月間の売り上げは過去最高を記録しております。

利用者動向として12月より利用者1名が新規契約となり、現在25名の在籍者数となりました。個々の障害支援区分の見直しが進み、平均値が4.8となっています。来年度には障害支援区分が5を超えることが予想されるため、更なる職員の支援スキルの向上及び強度行動障害支援における研修強化も並行して進める必要があると考えています。また、利用者1名が白老町内の企業で職場体験実習を開始し、一般就労に向けて経験を積んでおります。

環境面では、ウォーキングや野外活動のエリヤ整備を進め園舎南側の松林を伐採し手作りのブランコなどを設置し楽しめる空間になりました。今後は、さらに芝生の整備を進め、安全安心したくつろげる空間になるよう整備を進め、利用者の健康増進と新型コロナ感染防止に取り組んでまいります。

2. 各種活動報告

〈薬草加工作業・軽作業〉

「よもぎのお風呂」については、総数約3,700個、総額216,995円の売り上げがありました。定期購入の個人売り上げや大口取引先の宿泊施設への納品が継続されております。

委託業務である新聞たみの作業については、利用者のペースで安定的に行うことができる軽作業として定着しており、年間売上180,000円の工賃財源につながっています。生産活動全体としては総額5,974,700円を計上した。

尚、クリエイティブ班による「文様事業」では、国立アイヌ民族博物館（ウポポイ）がオープンし、それに向けて土産品の生産を開始し「Tシャツ」「パーカー」「タンブラー」「トートバッグ」「缶バッチ」等の販売を行いました。新型コロナウイルスの影響から、当初予定の4月から7月にオープンがずれ込み、売上的には予想を大きく下回る初年度スタートとなっている。イレンカ単体の売り上げは2,366,007円、同じく白老駅裏にオープンした白老観光協会運営の「ポロトミンタラ」では1,071,125円の売り上げとなっています。町内の商店街からの依頼により、オリジナルでデザインのアイヌ文様を施した「商店街のサイン看板」の受注や、町内はもとより町外でも「愛泉園のオリジナルアイヌ文様事業」は、電話での問い合わせが増えるなど、スローペースながらも確実に認知度が増している印象があり、今後もおおいに期待が持てると考えております。



【ななかまどイレンカ】



【ポロトミンタラ】



【商店街のサイン看板】

〈療育活動〉

何よりも本人との関係性の構築や障がい特性への理解を深めることを優先し、健康面、保清に配慮して、快適な日中生活を送るための支援を行いました。創作活動では、季節ごとの飾り付けなど、楽しみながら本人の意欲を高めるよう努めました。敷地内をウォーキング、野菜や果物の収穫、ゲーム機を使用したダンスなどを行い個々の特性に応じた支援内容を提供して、活動的に過ごすための支援を行いました。状態が安定的でない利用者に対しては、心理的なサポートを心掛けて、家族やグループホームとの連携による情報の共有化を図り、精神的な安定を基本として助言や支援を行いました。また、季節に沿った行事や各種活動を行う中で、仲間達と喜びを共有してもらえよう努めました。



【収穫祭】

【十五夜】

【忘年会（クリスマス）の様子】

〈農耕作業〉

農耕作業は、共生型事業所におけるご近所野菜市や「ななかまど」での販売を行い、583,847円の売上がありました。給食の一部食材として使用することで、新鮮な野菜を利用者に提供することができ、さらに行事等での使用をすることで栽培から消費までを一貫して体験することができ、利用者の笑顔につながったことと思います。昨年度は降雪により農耕ハウス2棟が倒壊し冬期間中の使用はできなかったが、今年度は違うハウスで冬期間中、無暖房ハウス栽培を行った。野菜の生育は良かったが害獣により一部被害を受け前年度ほどの収穫量には至らなかった。しかし今年度はシャインマスカットが豊作、町民の皆さまにも好評で購入いただき目標値を達成することができました。昨年も好評だったカシスは、冷凍カシスやカシスジャムとして販売、宿泊施設へ納品も行いました。今年度も挿し木をして作付面積を拡張し、愛泉園の資産となるよう増やしていきたいと考えております。また、重度の利用者でも活動に参加できる農作業への研鑽を進めております。

(生産実績) 園内耕地 とうもろこし、ナス、トマト、大根、ほうれん草、カボチャ、枝豆、オクラ、にんにく、小松菜、カシス、長ネギ、じゃがいも、ニラ、インゲン豆、ラディッシュ、秋田フキ、ポップコーン、行者ニンニク、シャインマスカット、大葉

(給食作業)

給食提供に係る補助業務を行うことで就労意識や本人の自己実現に向けた支援を行いました。仕事に関わることを継続することで本人の意識改革や自分が必要とされているという自尊心を大きく育てることに寄与できたものと思われる。

3. 作業工賃

活動内容や貢献度によって日額 150 円、200 円、300 円、500 円の工賃を支給し、25 名の利用者に対して総額 1,354,000 円 (1 人平均年 54,160 円) を工賃として支出し、機械設備の減価償却充当として約 18 万円円の積立を行うことができました。

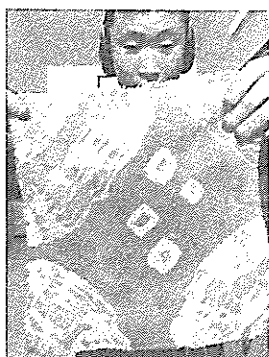
4. 職員研修

新型コロナの感染防止のため、外部への研修は中止し、ウエーブを活用した研修を実施しております。しかし、愛泉園は光回線がないため十分な研修実施には至っていません。今後も本部の設備を活用しながら研修の充足を目指していきます。

5. 余暇活動支援

新型コロナ感染防止を意識した内容の変更と工夫により各種余暇活動の充足を目指し、実施しました。主な取り組みは、月例行事として本人の誕生日に「愛泉園家族の会」の協力を得てプレゼントを用意し皆でお祝いを行いました。年間行事では、新年会、節分、バレンタインデー、ひな祭り、ハロウィンパーティなど季節的な催しの他に、夏にはミニ運動会的な「アイセンピック」を実施。日中活動においては「ベンガラ泥染め」や「しめなわ作り」など、日常生活とは異なった各種体験の機会を提供することで、心身のリフレッシュ効果を狙いつつ、思い出に残るような行事を行いました。

その他の屋内外の行事として、調理体験教室(菓子づくりなど)ゲーム的要素を取り入れた軽運動、近郊の施設への日帰り外出、月1度の大画面による映画鑑賞会などを実施し、余暇支援を充実させた。



【ベンガラ泥染め】



【夏季アイセンピックの様子】



【しめなわ作り】

6. 自治会（ベストフレンズ）活動の支援

新年会や忘年会、誕生会などの司会進行などは利用者自治会が主体的に実施できるよう支援に勤めた。

7. 事故防止策および事故対応策

緊急時の連絡網として [LINE] での情報交換を日頃から活用し、緊急時に対応できるよう努めてきた。また、事故防止のためのヒアリハット案件を毎月探し出し、職員へ周知しながら事故防止への意識を高めるとともに、他事業所へも運営会議を通じて周知してきた。

12月に起きた送迎車両（マイクロバス）の事故については、交差点での事故の為、過失割合が2：8となり幾分の責任が残った形となりましたが避けきれない状況であったと考え、今後もこのような事故に至らないよう安全運転を心がけるよう職員へ繰り返し注意喚起を行ってまいります。

8. なんでも相談（苦情解決）支援

本年度においては、なんでも相談受け窓口に寄せられたものはなかったが、ご家族より支援に対する要望や相談はあり都度話し合いを実施し利用者支援に生かす。

9. 保健医療支援

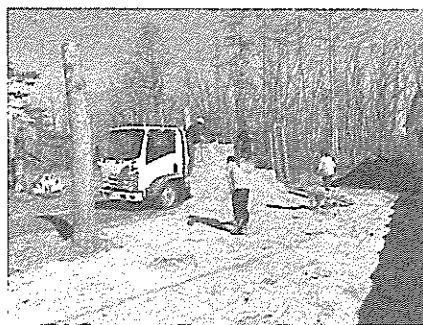
健康診断を行い、利用者の健康管理、維持に係る支援を行なった。また、毎日のバイタルチェックや表情などの観察をして、異変があればグループホームや家庭へ連絡をして必要な対応を行い、事業所での様子などケース会議等で情報の共有化を図った。インフルエンザ予防接種の強化、新型コロナウイルス感染防止強化による手指の消毒、加湿、換気、空気清浄などを重点的に実施した。また、園内の手すりやドアノブの消毒、公用車内の消毒を習慣化し、感染症予防を行った。てんかん発作を有する利用者については、発作の記録票をもとに家族へ報告を行い、医療対応の参考となるように配慮を行った。

10. 管理業務

予算の適正な執行に心がけ、経費節減に心掛けた。障害支援区分の変更、例年並みの利用率の維持ができた。厳寒期における凍結事故により調理場の配管破裂による損害が発生したが、保険対応により改善を行うことができた。野外フィールドの整備においては、園舎南側の旧カラマツ林を伐採し手作りの遊具を設置することで利用者の憩いの広場として活用されている。この野外フィールドについては、芝生など次年度も環境を進め今後もより良い環境整備、不要物品等の処分等を随時行っております。職員会議、支援会議、ケース会議等の会議の開催の他、事務部会・運営会議に参加。また、外部の会計事務所の監査を受けることで、会計の透明性を図りました。消防設備点検、浄化槽点検を行い、安全への配慮、設備の維持を行いました。また、災害を想定した（地震、火災）避難訓練を実施した。



【遊具設置・天然芝整備】



【チップ整備】



【マイクロバス購入】

令和2年度 愛泉園年間事業実施表

	行事等 内容	会議・研修 内容	保健衛生・検査・その他等	
4月	辞令交付及び永年勤続表彰式(1日) 誕生会(17日) 屋内活動:パフェづくり(24日) 水芭蕉見学第1班(30日)	施設長会議(10・17・21・27日) 外部監査(28日)	職員会議(7日) 看護師会議(14日) 支援会議(22日)	茨城から見学者(1日) 厚労省からマスク40枚届く(6日) 水質検査・検便検査(8日) 精神科嘱託医往診(9日) 利用者工賃支給(10日)
5月	水芭蕉見学第2班(1日) 花見(9日) 伴野さん実習打ち合わせ(27日) 誕生会(28日) 避難訓練/地震想定(29日)	施設長会議(1・8・15・27日) 法人運営会議 / 外部監査全体報告(15日) 内部監査(19日) 理事会(25日) 書面理事会(27日)	職員会議(13日) 看護師会議(26日) 支援会議(27日) ゆからモニタリング(7・27日)	利用者工賃支給(7日) 水質検査・検便検査(13日) 公用車車検(13日) 精神科嘱託医往診(14日) AED交換(28日)
6月	誕生会(12日)	施設長会議(12日) 理事会・評議員会(17日) 法人運営会議(19日) 看護師会議(24日) ゆからモニタリング(2・17日)	白老町認定調査(4日)看護師会議(10日) 看護師会議(10日) 野菜市出席者会議(10日) 職員会議(10日) 給食会議(16日) 支援会議(24日)	バス車検(4日) 利用者工賃支給(10日) 水質・便検査(10日) 精神科嘱託医往診(11日)
7月	誕生会(10日) 伴野さん敷島ファーム農場体験(13~22日) 果物狩り(14日) ソフトクリーム作り(17日)	法人運営会議(17日) 野菜市出席者会議(21日) 事務部会(30日) 施設長会議(31日)	室蘭市区分認定調査(6日) ゆからモニタリング(8日) 職員会議(8日) 支援会議(22日) 施設長会議(10日) えがお祭り出席者会議(15日) 看護師会議(21日)	精神科嘱託医往診(9日) 利用者工賃支給(10日) 水質・便検査(10日)
8月	野菜市販売(4・8・11・18・29日) 誕生会(20日) 夏のアイゼンピック(31日)	施設長会議(12・21・28日) 法人運営会議(24日)	ゆからモニタリング(3日) 職員会議(6日) 看護師会議(18日) 支援会議(26日)	えがお祭り(1日) 精神科嘱託医往診(6日) 利用者工賃支給(10日) 水質・便検査(12日) あぶる新任職員見学(28日)
9月	野菜市販売(8・12・19・29日) 京檀さん見学(14日) 収穫祭(25日)	施設長会議(11・23日) 理事会(23日) 法人運営会議(28日) 前期モニタリング(30日)	職員会議(9日) 内部監査(16日) 看護師会議(24日) 支援会議(30日)	水質・便検査(9日) 利用者工賃支給(10日) 精神科嘱託医往診(10日)
10月	京檀さん体験実習(7日) マスカット収穫(27日) ハロウィン(30日)	前期モニタリング(1日) ゆからモニタリング(6日) 共生型運営会議(6日) 施設長会議(9・30日) 法人運営会議(23日)	職員会議(14日) AED講習(21日) 支援会議(28日) 総務総合振興局訪問(30日)	あぶる新任職員見学(8日) 精神科嘱託医往診(8日) 水質・便検査(14日) 専業所説明会(14日) 鈴木弓子さん調理実習(21・22日)
11月	京檀健汰さん利用体験(5・6日) 誕生会(16日)	施設長会議(9・17・18・25日) 正規職員登用試験(11日) 施設長伊達出張(19日) 法人運営会議(20日) 外部監査(24日) 内部監査(25日) 事務部会(27日)	ゆからモニタリング(4日) 京檀さん様子見出張出張(4日) 職員会議(11日) サボカレ研修会(14日) 支援会議(25日)	インフルエンザ予防接種(6日) 水質・便検査(11日) 精神科嘱託医往診(12日) 旭川大学生1名見学(12日) マイクrobas3か月点検(21日) コロナ対策特別措置GH対応(21・24・25)
12月	焼き芋(4日) 京檀健汰さん利用開始(9日) 避難訓練/火災想定(11日) 誕生会(18日) 忘年会(25日)	理事会(2日) ゆからモニタリング(3日) 施設長会議(8・16・22日) ショート会議/あぶる会議(21日) 法人運営会議/コロナ対策会議(23日)	新卒採用試験(8日) 職員会議(9日) 看護師会議(17日) 支援会議(23日)	水質・便検査(9日) 利用者工賃支給(10日) 精神科嘱託医往診(10日) マイクrobas査定(24日)
1月	新年会(9日) 誕生会(9日)	施設長会議(6日) ゆからモニタリング(7・8日) 書面理事会(8日) 法人運営会議(22日)	ゆからモニタリング(7・8日)職員会議(13日) あぶる会議(13日) 看護師会議(13日) 富小牧市区分認定調査(21日) 支援会議(27日)	利用者工賃支給(8日) 水質・便検査(13日) 精神科嘱託医往診(14日) 厨房天井工事(14~16日) アルノック防火設備点検(26日) 浄化槽点検清掃(28日) 新バス受け取り(30日)
2月	餅分(3日) バレンタインデー(12日) 誕生会(26日)	後期モニタリング(16・18日) 施設長会議(24日) 法人運営会議(26日)	登別市区分認定調査(2日) ゆからモニタリング(3日) 職員会議(10日) 登別市職員京檀さん様子見(15日) 支援会議(24日) 看護師会議(24日)	新バス利用開始(1日) 精神科嘱託医往診(4日/処方箋のみ) 利用者工賃支給(10日) 水質・便検査(10日) 軽トラ修理・リコール(24日)
3月	ひな祭り(3日) ホワイトデー(12日) 誕生会(24日)	感染症拡大防止研修(1日) ゆからモニタリング(1日) 施設長会議(5日) 内部監査(10日) モニタリング・支援計画会議(10日) 法人運営会議(24日)	職員会議(10日) 支援会議(24日) 看護師会議(26日)	名寄市立大学生1名見学(2日) 水質・便検査 / 利用者工賃支給(10日) 精神科嘱託医往診(11日) 浄化槽組合点検(17日) 集高事業説明(19日) 伴野敏高さん引越(23日) 伴野敏高さん実習開始(24~26日)